

「信濃町教会は都会の中の心のオアシス」

瀧川直子（オリブの会）

信濃町教会は、私にとって、まさに、「都会の中の心のオアシス」です。日曜日の礼拝は、静かな礼拝堂の中、荘厳なパイプオルガンの前奏で始まります。聖書を読み、牧師の説教に耳をかたむけ、お祈りをし、パイプオルガンの美しい音色と共に、皆で讃美歌を歌います。そして神様やキリストの恵みに包まれ癒されると、礼拝に参加した多くの方が、昨日までの嫌な事、例えば、家族の誰かと喧嘩したことや、職場でイライラしたり怒られたりした事や、学校で同級生に意地悪をされたり先生に怒られたりしたことなどを忘れてしまうのではないのでしょうか。

いえ、それは単に忘れると言うよりも、私たち自身の心に変化が起き、受け取り方が変わることによって、怒りや嘆きが少なくなっていくのだと思います。神さまやキリストがいるという安堵感から、そうなるのでしょう。

最近の私自身については、私に怒っていた人に対して、「あの人自身になにかイライラする原因があったんじゃないかしら」と寛大になれた自分を自ら発見し、我ながら、感心したりしました。（その人には、やはり、家庭内でのトラブルがあったようなのです。）

また、信濃町教会は、私にとって第二の家族です。教会の中では私達は何の利

害関係も無く、神さまの前では皆、平等ですから、その点ではもしかしたら、本当の家族よりも平等かもしれません。私は、子供たちの教会学校でオルガンの奏楽をしたり、求道者の会のお世話係をしています。この求道者の会というのは、私は少人数の家庭的な雰囲気の中で、お茶を飲み、お菓子を食べながら行われる茶話会的なものを受け止めています。礼拝の時間だけで、聖書の内容を深く理解するのは難しいかもしれません。ですから、求道者の会では、疑問に思ったこと、解りにくかった事柄を、気兼ねなく出し合い、話し合っています。その他に、他愛ない雑談もしています。

近頃は、学校にいきたがらないで引きこもりの様になってしまう子供たちが増えているようですが、私は、そういう時にこそ、信濃町教会の教会学校で、一緒に聖書を読んだり、讃美歌を歌ったり、イベントを通しておしゃべりをして、新しい兄弟姉妹、新しいお友達ができれば、とても幸せになれると思います。学校と家庭と塾や習い事しか知らなかった子供達が、こんな場所もあるんだと、安心してもらえたら、とてもうれしいです。子供達にとっても、大人同様、信濃町教会が「都会の中の心のオアシス」になってもらえたらと心から願っています。

